



セカンドハーベスト名古屋

# SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2022.1月号

NO.17

発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0831 愛知県名古屋市北区城東町七丁目148番地

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:https://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植



## 2021年度、活動を振り返って

今年もお世話になりました。2021年はコロナ禍の真っただ中で、行政からの個人支援要請が急増する一方、感染症対策のため、一部企業からの食品引取りの中止やパートナー団体の引取スケジュールの変更（週1回から隔週に半減）などを進めざるを得ず、多難な一年となりました。

またベテラン理事長の退任で、事務局機能の大幅な低下となり、ボランティア理事が業務ごとに責任を分担する担当理事制やベテランボランティアに業務・曜日別に取りまとめをお願いする世話人制を設けたりと、本年は事務局・ボランティアの皆さんの頑張りで昨年並み～昨年を超える活動ができた一年となりました。多大なご支援ご協力を頂きありがとうございました。

2022年度は事務局機能の強化を図り、ボランティアの皆さんのストレスをより低減できるNPOになるとともに、東海各地のフードバンクとの連携を進め東海地方における食のセーフティネット構築を目指し活動して参ります。

以下、2021年1年間の活動の成果を振り返り、2022年の指針にしたいと思います。



本年も皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。  
<理事及び事務局一同>

### CONTENTS

2021年度、活動を振り返って…p.1	2021年度概況……………p.2
企業訪問マルサンアイ株式会社…p.3	特集★つなぐ子ども未来……………p.4

## コロナ禍における2021年度概況

### 食品取扱量 510 トン

昨年は5年ぶりに500トンを超える取扱いとなりましたが、本年も昨年並みの510トン強の食品を地元企業・個人の皆様から寄贈頂きました。中でも提供企業数は昨年の約1.3倍320社を超えると見込まれます。SDGsによる食品ロスに対する社会潮流の変化や、メディアにも多く取り上げられたこともあり、個人寄贈やフードドライブによる寄贈も昨年同様高水準となりました。



### 団体支援 200 団体(10,000人)

児童養護施設、ホームレス支援団体、子ども食堂など各種福祉団体約200団体に400トンの食品を提供しました。団体数に大きな変化はありませんが、コロナの影響で開催の難しくなった子ども食堂なども、お弁当の配布やパントリーを行うことで支援の継続をされています。

### 個人支援 8,000 世帯(16,000人)



行政が設置した相談窓口と連携した個人支援、社会的養護の施設と連携した個人支援等、昨年は7000

※2021年度実績は、1~11月実績に基づく推計値

世帯を超えましたが、本年は更に増え8000世帯に達する見込みです。これにより生活に困られた方、約16,000人に栄養価の高い食品の詰め合わせをお届けすることができました。お届けする食品はお腹を満たすだけでなく、精神的安定にも繋がって下さっている様子です。

### 活動ボランティア 60 人

一日10~15人のボランティアが活動に参加しています。緊急事態宣言下、新規のボランティアの採用を停止せざるを得ず、10月以降はシフト作成に苦労しました。参加を一時見合わせていたボランティアも、徐々に活動を再開しています。



### 活動資金

メディアに多く取り上げられたこと、SDGsの機運の高まり等もあり、個人や企業から前年同様、高水準の寄付を頂きました。当活動には公的資金の支援ではなく、皆様からの寄付に支えられています。



### 食のセーフティネット構築に向けて

東海3県各地のフードバンクと連携して、食品の相互融通などを進めるべく「ネットワーク研究会」活動を2018年から進めてきましたが、2020~2021年はコロナ禍でほとんど進捗できませんでした。緊急事態宣言明けの10月から活動再開しています。

## 食品提供企業訪問 marusan

# マルサンアイ株式会社

10月、2HNのボランティア数名で岡崎のマルサンアイを訪問しました。2019年12月からみそや豆乳など多くの食品を寄贈いただき、とてもお世話になっている食品メーカーです。工場の受付では食品寄贈担当の営業BPR室の真子（まなご）さん、総務人事課の深津さんが出迎えてくださいました。コロナのため工場見学はできなかったのですが、ビデオを見た後、私たちの質問に丁寧に答えていただきました。



みそや豆乳は比較的賞味期限が長い食品ですが、食品業界の3分の1ルール※のため、正規に出荷することが難しくなってしまった商品の中で、できるだけ喜ばれる商品を寄贈いただいているそうです。2HNとしてはありがたいことですが、まだまだ食べられるのに出荷できないとはもったいないですね。

この会報誌でも紹介していますが、私たちが行政の相談窓口と連携して送付している「個人支援用食品パック」の中で、助かった食品ベスト5の第1位はお米、5位にみそ類が入っています。みその消費量は年々減少しているそうですが、やっぱり私たちはみそが好きなようです。寄贈いただいているみそのなかでも、だし入りの液状みそはお湯で溶かすだけでみそができる、開封後も90日間常温保存可能ということ



で、調理が苦手な単身の男性用に使いやすく、とても助かっています。またフリーズドライの商品もたくさん寄贈いただいており、みそ汁だけでなく豆乳リゾットのような商品もあり、食品パックの内容がバラエティ豊かになって、とてもありがとうございます。

マルサンアイの敷地内にはみそと豆乳の2つの工場

が建っていましたが、今や売上の7割が豆乳というのには驚きました。豆乳商品もたくさん寄贈いただいているが、飲料や豆乳チーズなど、どれもタンパク質を手軽に取れるのでとても助かっています。

今回マルサンアイを訪問し、直接お話を聞くことで、商品をつくっている方々の思いを知ることができ、寄贈いただいた食品を確実に必要とする人へ届けていくことの大切さを再認識しました。



### ※3分の1ルール

消費者により良い商品を届けるため、製造日から賞味期限までの3分の1を経過した商品はメーカーからは出荷されず、3分の2経過時点では小売店の店頭からも外される日本独自の商習慣。近年は食品ロスの観点から見直しの声が高まっています。

### ボランティアの感想

- ✓ 企業が寄贈を始めとして、営利目的以外の活動をするのも一般化してきたのかなという印象をもちました。（O）
- ✓ 初めての企業訪問でしたが、担当者の人柄を知ることができました。（A）
- ✓ みそ離れの進む中、豆乳の生産は目覚ましく輸出も盛んとお聞きしました。お洒落なカフェでマルサンアイさんの豆乳がラテとして愛飲されているとか!海外で栽培された大豆が食されるまでの長い旅に想いを馳せる一時でした。（W）
- ✓ 寄贈いただく商品に対する想いを聞かせていただき、ありがとうございました。また、フードロスに対しての理解と2HNの活動にご協力いただくマルサンアイ様に感謝です。（O）

### 会社概要

創業70周年 マルサンアイ株式会社

愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

HP <https://www.marusanai.co.jp/>

インスタグラムには魅力的なレシピも満載です！



## 特集 ★ つなぐ子ども未来

2017年8月から昭和区内で子ども食堂を、翌年には地域巡回型として活動を展開しはじめました。2020年2月に“地域の居場所”として常設の活動拠点『つなぐハウス』を昭和区長戸町にオープンします。折しも、コロナ直前のことでした。

この『つなぐハウス』にセカンドハーベスト名古屋のボランティア等4人でお邪魔しました。2時間に及ぶ滞在でしたが、その間にも一人、二人と地域の方がサツマイモを大量に届けにきたり、近所の小学生が連れ立ってやってきます。子ども達が入口付近に並べられたお菓子を楽しそうに選びながら、2階のフリースペースに上がっていく様子が印象的でした。

つなぐ子ども未来の活動は子ども食堂に加え、コロナ禍で始まったフードパンtryー、子育て応援弁当…と多岐



にわたりますが、“まちの居場所”活動もその一つです。

朝は小さなお子さんをもつお母さん達、昼は近所の主婦の方なども訪れる『つなぐハウス』は、まちの憩いと交流の場所。常に提供される食事や弁当配達の背景には、寄贈された食品を循環させ、食を通じて交流の場をつくりたいという代表理事の安藤綾乃さんの熱い思いが感じられます。いつ寝ているの？と聞いてしまいたくなるほど多忙な安藤さんの活躍と共に、一緒にになって歩んでいくこうとする人たちの存在も強く伝わってきました。



2HNからの食材が活かされています。

この『つなぐハウス』が地域の拠点となって、子どもたちにどんな未来が紡ぎ出されるのかとても楽しみです。

### 団体概要

一般社団法人 つなぐ子ども未来

名古屋市昭和区長戸町 5-46 つなぐハウス

Web <https://www.facebook.com/2019tunagu>

個人支援受領書にみる

## 助かった食品 ベスト5

(複数回答による)



**お米** (48%)

2

レトルト食品 (25%)

3

缶詰 (14%)

4

お菓子 (10%)

5

みそ類 (7%)



お菓子は張り詰めた  
心を溶かしてくれる  
みたいだね！

お米離れといわれる昨今ですが、やはり主食としての存在感は圧倒的！実に半数近くの方がお米と書いて

下さっています。また2位のレトルト食品、3位の缶詰、6位のご飯のお供を合わせると全体の44.5%にも。ご飯さえあればすぐにでも食べられる簡単便利な食材は、とても喜んで頂ける様子です。

こうした食材は長期保存も利く反面、食品ロスとしては実はとても出にくい食材。今後需要に合わせた食材確保も緊急な課題となっています。ご家庭で眠っている缶詰・レトルト食品などございましたら皆様の温かいご支援を引き続き宜しくお願い致します。

### 寄付のお願い

いつも2HNの活動へのご理解、ご協力をありがとうございます。私たちの活動は行政からの支援は一切なく、皆様からの寄付金、会費、助成金などにより支えられています。

今後も皆様のあたたかいご支援、何卒よろしくお願ひいたします。

\*2HNは名古屋市の認定NPO法人で、2HNへの寄付は所得税の寄附金控除の対象となります。

#### 銀行振込

三菱 UFJ 銀行 栄町支店 普通口座 0015287

特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

※領収書が必要な方は、[info@2h-nagoya.org](mailto:info@2h-nagoya.org)までご連絡ください。

#### クレジットカード

単発での寄付だけではなく、毎月の継続寄付メニューもご用意しております。

1,000円/月  3,000円/月  5,000円/月  10,000円/月

セカンドハーベスト名古屋 寄付

